

無名峰 927m

地形図「久多」

ポンポン山雑感

2019年4月2日

三鍋敏郎

国道 367 号線の梅の木から安曇川を渡ると道路に積雪が見られるようになった。スタッドレスタイヤは 3 月中旬に履き替えていたので、久多集落の走行は自然と慎重になった。この季節にまさかこんなに雪があるとは思わなかった。

上の町から 1 キロほど上流に向かって走ると、久多川が右にカーブする。この辺りが今日の取付き地点。

道路から久多川対岸の林道に架かる橋が流されており、渡渉し橋の残骸に取り付いて林道に上がる。支流の長治谷も渡渉して右岸にある杉の植林地のヤセ尾根に取り付く。意外と穏やかな登りが続いている。標高 600m 辺りでイワカガミ。ピーク 783m までの間はユズリハが茂った場所があるが、どうにかすり抜けて歩ける。783m を過ぎると小ピークの連続。ピーク 897m 手前に板取された大杉がある。古い時代に試し切りされたのか板取面の周囲が大きく盛り上がっている。このピーク周辺には杉の大木が点在していた。

897m から西に進行方向が変わると、左手に杉の大木があり、人が二人ほど入れるほどの洞がある。近くには落雷で内部が焼け焦げた木もあった。緩やかに下り緩やかに登ると自然林が多くなるが新雪の下が残雪で歩きにくい。本日の目的地 P927m への分岐点の小ピークで、コンパスを西に合わせて進むと本日の目的の山 P927m に到着する。

山頂は植林されていたが、すこし北に行くと開けた場所があり、L 字金具の杭にわずかに O27 とマジックで書かれた痕跡。山頂は風が冷たく、引き返して 5 分ほど下ったコルでの昼食。靴紐を結び直そうと掴むと固く凍っていたので気温は氷点下。

食事後分岐に戻り東に向かう。すぐに尾根の分岐があり慎重に進むべき尾根を見つけて下ると、ヤセ尾根になる。展望が開けて鎌倉山から比良連峰の雄大な山々が見える。尾根は途中で一端広いピークになるが再びヤセ尾根。少し進むと右手に P829m が見えてくる。尾根の分岐点から東に折れると、先程確認した P829m に出る。この東に向かう尾根はブナ混じりの素晴らしい自然林が続いている。標高 600m 辺りではブナの純林に近い感じの美林が広がっている。

最後の尾根の分岐点では最も緩やかな尾根を選んで下ったが、積雪の急斜面で随分苦労を強いられた。雪解け水で増水した久多川を渡渉すると朝置いた車が見えた。

歩きごたえがあり、読図の学習には面白い山である。

★メンバー 三鍋・他 3 名 ★コース林道分岐 9:15~P 783m 10:36~P 897m 11:18~山頂分岐 12:18~927m 12:35 発 38~コル 12:43 発 13:03~下降分岐 13:52~P 829m 14:00~久多川 15:00~駐車地 15:18